

事業を通じた社会課題解決

Transportation System

輸送システム

40億人

世界人口の約6割にあたる40億人超もの人々の生活を支え、今なお成長を続けるアジア。ヒト、モノ、カネ、情報が飛び交うこの地域で、大規模輸送・低環境負荷に優れた鉄道車両の供給を通じて、アジアの発展を支えています。

“皆様の力に” — Powering your potential —
Kawasakiは今日も走り続けています。



シンガポール向け鉄道車両

シンガポールの都市鉄道

狭い国土に500万人を超える人口を抱えるシンガポールでは、1980年代から高効率な交通インフラ整備を行ってきました。中でも1987年から運行を開始した都市鉄道は便利かつ快適で、今や国民の足として定着しています。

川崎重工は、1986年に同国初の地下鉄車両を納めて以来、計656両の車両を納入しています。混雑緩和とエネルギー効率の向上という現地の要求に応え、乗車定員を増やしつつもエネルギー消費を抑制するなど、当社が納入した車両はシンガポールの都市鉄道の輸送力増強に貢献し、高効率交通システムにおいて欠かせない存在となっています。



台湾高速鉄道

2007年、日本の新幹線システムが海外へ輸出された初めてのケースとして、台湾高速鉄道が営業運転を開始しました。

同高速鉄道の開業で、北部の台北から南部の高雄までが90分ほどで結ばれることになりました。ビジネス・観光に便利になり、経済効果は計りしれません。

当社を含む7社からなる日本企業連合が機電システムトータルを受注し、当社は車両の幹事会社として「700T」シリーズ360両を納入しました。

ビジネスマン、家族連れ、学生などさまざまな乗客が思い思いの時間を過ごす車内。当社が自信を持って送り出した高速鉄道車両は、台湾の幅広い人々に親しまれています。



台湾向け高速車両電車

事業を通じた社会課題解決

Energy & Environmental Engineering

エネルギー環境

15兆8千億kWh

世界経済の成長を力強く牽引するアジア。
2035年のアジアの電力需要は、現在の約2倍となる15兆8千億kWh(年間)*に拡大すると予測されています。

発電用エネルギーとして期待を集めるのは、環境負荷が小さく埋蔵量が豊富な天然ガス。天然ガスを燃料とする発電設備への需要の高まりに対して、川崎重工は顧客ニーズを満たすエネルギーソリューションを提供していきます。

*国際エネルギー機関(IEA)見通し



カワサキグリーンエンジン

深刻な電力不足解消に向けて

成長を続けるインドでは供給量を上回る電力需要や不安定な電力網を背景に、分散型電源を活用した独立系発電事業者(IPP)が増加しています。

2013年、当社はインドのIPP発電所向けにガスエンジンを初受注。世界最高の発電効率と優れた環境性能を誇る当社のガスエンジンが生み出す電力は、すべて電力会社へ販売されます。

インドの深刻な電力不足の解消に向けて、当社のガスエンジンが活躍するフィールドは今後も広がっていきます。



安定したエネルギー供給を支える

シンガポールは、エネルギー供給の安定化を図るため、同国初のLNGターミナル建設を進めています。

2012年末、当社はLNGターミナル内への電力供給用としてガスエンジン2基を納入。世界最高の発電効率を誇る当社のガスエンジンは電力コストの削減に大きく貢献するとともに、優れた環境性能によって低環境負荷運転を実現します。

世界有数の大都市へ発展を遂げたシンガポールで、当社のガスエンジンがエネルギーの安定供給に貢献します。

事業を通じた社会課題解決

Industrial Equipment

産業機器

2,628万ha

全人口の約半数を農林水産業従事者が占め、世界第4位の小麦生産量を誇る、農業大国パキスタン。国土の3分の1にあたる2,628万ha*におよぶ広大な農地の土壌を改善し、収穫効率を高めるために、膨大な量の肥料の確保は同国にとって非常に重要なことです。

川崎重工は、肥料の原料となる尿素を製造する同国最大規模の肥料プラントの中で特に重要な尿素製造設備等を受注。2009年に引き渡しを行い、同国の農業発展ひいては農家の豊かな生活に貢献しています。

これからも、世界の人々の豊かな生活のために、川崎重工はつくり続けます。

*農林水産省ホームページ参照





Fatima Fertilizer Company Ltd. 肥料工場向け尿素製造設備

Fatima Fertilizer Company Ltd. (ファティマファーターライザー社) がパキスタン中部のサディカバット市近郊に建設した肥料工場は、近隣のマリガス田で産出される天然ガスを原料にして、アンモニアから尿素をはじめ各種合成肥料を生産する同国最大規模の設備で、当社が担当したプラントは一日あたり1,500トンの尿素を生産する同工場の中核設備です。当社は、それ以外に肥料製造設備全体のエンジニアリングおよびプロジェクトマネジメントを担当しました。



尿素製造設備